



◆空き家塾

相談会や、会員間の交流、また空き家に興味がある方に自由に参加してもらえる集まりです。「空き家相談員」になりたい方、ご自分の空き家で困っている方など空き家に関することに興味がある方はご参加お待ちしております。

＜相談会のご案内＞

当NPO所属の相談員が空き家に関してのお困り事に無料で相談をお受けします。相談には、岐阜県空家等総合相談員・空き家相談士・行政書士・宅建士等の専門家がご対応します。

※相談のご予約は下記事務局まで。

日にち	相談会の時間	公開講座（時間）
10月25日(水)	16：00～18：00	やってみよう！空き家DIY！（16：30～17：00）
11月22日(水)	15：00～18：00	戸建ての賃貸について（15：30～16：00）
12月20日(水)	15：00～18：00	未定（決まり次第ホームページに掲載いたします）

◆会員紹介

林 直道（空き家相談士・不動産コンサルティングマスター）

不動産取引の経験が長く、岐阜県不動産コンサルティング協会の会長でもあり、不動産のコンサルティングもしています。空き家に関する知識も豊富で、相談者の疑問、質問に即座に答えられる能力が身に着いた方です。当NPOの頼れるお父さんの存在です。

紹介者：高橋 邦一

◆SNS情報



相談会の情報をお知らせ。LINEトークからも空き家相談の予約が可能です！

団体活動や会員が配信したい内容を掲載しています！空き家関連以外にも様々な情報も発信中

npoakiya



◆AKIYA通信購読のご案内

AKIYA通信を定期購読されたい方はこちらよりお申込みください。
※お問い合わせ欄に「AKIYA通信定期購読希望」とご入力ください。
アクセスはこちら ●<https://gifu-akiya.net/contact/>



NPO法人岐阜空き家・相続共生ネット
住所：岐阜市坂井町1-24 Agora岐阜 1F
TEL：058-253-5255(事務局)
Email：2015@gifu-akiya.net
HP：https://gifu-akiya.net/



NPO法人岐阜空き家・相続共生ネット

AKIYA通信 2023秋号

発行／2023年10月1日 発行者／NPO法人岐阜空き家・相続共生ネット 〒500-8857岐阜市坂井町1-24 058-253-5255

今号のお届け情報！

- ◆空き家が犯罪の温床になる可能性があります
- ◆「東大生×美濃加茂市×空き家の専門家～公民連携事業～」
- ◆活動報告

◆高齢化と空き家対策

高齢化社会において、空き家対策は重要な課題の一つです。空き家が増加することは地域経済や社会インフラに影響を与え、地域の魅力を損なう可能性があります。高齢者が自宅で生活し続けるために、在宅への適切な支援と介護サービスが提供されることが重要です。地域社会における支援体制の強化や在宅ケアの充実は、高齢者が自宅に滞在しやすくなり、住宅を改修し、バリアフリー化を促進することにより、高齢者が住み続けやすい環境を整備できます。

行政対応として、空き家の所有者に対する減税措置改善やリフォーム助成金の見直しが検討され、空き家の利活用を促進しています。

また民間対応では、空き家を活用した高齢者向けの共同住宅やコミュニティ型住宅など、支え合いや社会的なつながりを育む居場所の提供が必要となります。

そして官民連携対応として、地域コミュニティを活用し、子供から高齢者まで地域住民が共感し、参加できる仕組みを作り、地域の課題に対する解決策を全世代参加で模索することが大切です。

高齢空き家予備軍に対して、発生抑制のための先手対策に重点を置いた「自宅将来対策シート（仮称）」を活用し、早期の行動喚起に向け「わが家の終活セミナー」や「空き家総合相談会」「行政連携協働事業」を当団体は進めています。

※相談先：NPO法人岐阜空き家・相続共生ネット

ホームページの【お問い合わせ】からご予約ください。



空き家の豆知識

「わが家の終活」終活とは、これからの人生をよりよく生きるために、人生の最期を見つめながら、亡くなったあとに備えることです。これからの高齢者は大変です。人生100年時代を迎え、生きていくためにお金が必要です。「わが家の終活」（実家の後始末）まで考えている余裕なんてありません。それが現実かもしれません。

◆空き家が犯罪の温床になる可能性があります

空き家は放火や薬物栽培などの犯罪に巻き込まれる可能性があります。

平成27年に消防庁が公表した資料によれば、出火の主な原因は放火で、総出火件数43,741件のうち放火が4,884件で全体の11.2%を占めています。さらに、放火の疑いを含めると全体の18.4%に上り、およそ5件に1件が放火または放火の疑いによる火災です。

空き家は放火犯の標的となりやすく、人の出入りが少なく、管理が行き届かないため放火の際に気づかれにくい状況が生まれます。また、草やゴミが散乱していることも放火の危険性を高めます。門扉や窓が施錠されていない場合、放火のリスクは一段と高まります。



薬物栽培も空き家で行われる犯罪の一つです。平成26年には外国人と日本人の4人グループが空き家で大麻の大量栽培を行い、530株の大麻草や6.1キロの乾燥大麻を製造していました。

このような犯罪行為によって、被害は犯罪者自身だけでなく周囲にも及びます。火災や薬物の乱用により治安が悪化する危険性もあることから注意が必要です。

所有している空き家で困っている場合は専門家へご相談ください。

◆「東大生×美濃加茂市×空き家の専門家～公民連携事業～」

8月3日に美濃加茂市生涯学習センターで、名和理事長が「空き家を考える」をテーマに東京大学の学生を対象にした空き家講習会の講師を務めました。「みのかもわーきんぐホリデー」という美濃加茂市と東京大学との連携事業があり、毎年8月頃、学生が美濃加茂市に滞在して地域の課題に向き合っているそうです。

今年は「空き家の利活用」が課題をいうことで、名和理事長から「空き家所有者の行動実態と利活用への課題」や「空き家対策の今後のあり方」等について話を伺った学生からは、「空き家問題って難しいな…」という感想が聞こえてきました。（写真1）

8月19日に開催した美濃加茂市空き家セミナーでは、空き家の利活用をテーマに名和理事長と田口会員が講師を務めました。その後、学生とセミナー参加者との意見交流会が開かれました。（写真2）



（写真1）



（写真2）

その後15日間の活動を終え、学生による成果報告会が開催されました。「空き家問題＝高齢者問題＝コミュニティ問題」と捉え、空き家の発生予防と積極的な利活用によって価値のある空き家を増やしていくことが、空き家問題のゴールであるとの報告を受けました。

具体的な提案の中の一つに、「断捨離フリーマーケット」の開催がありました。これは終活をして家の中を片付けた後、不用品のすべてを廃棄するのではなく、利用できるものは地域の次の世代に使ってもらおうとするもので、高齢者が外に出て地域住民と交流することで、空き家予備軍の把握に繋がるとともに、空き家になった後の片付けの負担を軽減して、利活用を促進していく狙いがあるとのことでした。

このように、若い世代の目を通して空き家問題を見ると、新たな発見・気づきが生まれ、新しい空き家対策に繋がっていきます。今後も当団体は学生を含めた幅広い世代の方々と空き家問題に取り組んでいきたいと考えています。

◆活動報告

●7月7日 白川村空き家説明会

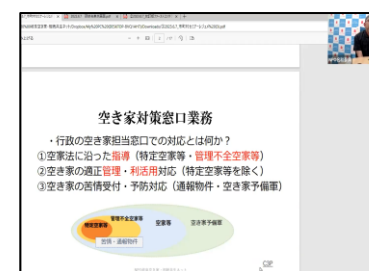
白川村の村民に向けた空き家セミナーの講師を名和理事長が務めました。空き家のリスクと空き家になる前の備えをどうしていくべきかお話をさせていただきました。（写真3）



（写真3）

●8月2日 市町村空き家担当定期継続支援事業研修会

岐阜県市町村の空き家窓口職員に向けたセミナーを定期開催しています。今回は空き家相談にどのように対応すべきかを相談内容別に専門家が講義させていただきました。（写真4）



（写真4）

●8月3日 美濃加茂市東大生向けセミナー

記事「東大生×美濃加茂市×空き家の専門家」にありますように名和理事長が東大生へ空き家問題について話しをしました。（左ページ写真1）

●8月19日 美濃加茂市空き家セミナー

美濃加茂市の市民に向けた空き家セミナーに講師として名和理事長、田口会員が務めました。今回はインスペクション調査（建物状況調査）や空き家のDIYについて、器具を用いながらお話をさせていただきました。（左ページ写真2）

●8月19日 三田洞神仏温泉相談会

三田洞神仏温泉相談会が2カ月に1度の定期開催になりました。今回は3件相談があり、設置した展示パネルを熱心に見ていた方もいました。次回は10月21日（土）に開催します。

岐阜市三田洞神仏温泉 開催

「空き家について気になること、ご相談下さい。」

日時： 8月19日（土）
10月21日（土）
12月16日（土）
午前10:30～午後3:30
『空き家パネル展』同時開催

会場： 1階松風の間

ご予約も可能です。
ご希望のお時間を施設事務所までお知らせ下さい。
個人情報厳守

空き家 無料相談会

※施設入館券が必要となります。

三田洞神仏温泉相談会チラシ